

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府河内長野市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	河内長野市文化遺産活用事業		
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>河内長野市には国宝・重要文化財 8 5 件をはじめとし、活用の対象となる多くの歴史文化遺産が良好に残っている。平成 28 年度から取り組んでいる『河内長野市第 5 次総合計画』では、「協働によるまちづくり」を基本政策のひとつとし、「ふるさとへの誇りを高めること」をまちづくりの方向としている。また、平成 27 年度に策定を行った「河内長野市歴史文化基本構想」では、基本方針として、以下の 5 つの項目を掲げている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テーマあるいは空間としての歴史文化遺産のまとまりの価値を共有する。</li> <li>2. 郷土に対する関心と愛着を喚起する。</li> <li>3. 多様な主体が歴史文化遺産の保存と活用に参加できる仕組みを構築する。</li> <li>4. 地域の魅力を向上する。</li> <li>5. 長期的な視点で効果的・効率的な歴史文化の保存・管理を行う。</li> </ol> <p>本事業では、『河内長野市第 5 次総合計画』『河内長野市歴史文化基本構想』に基づき、行政や地域住民などのあらゆる主体が連携し、各ジャンルを横断した効率的、計画的な歴史文化遺産の保全・活用を行い、まちの活性化を推進する。</p>			
6 実施体制			
<p>河内長野市が、本実施計画に係る全体の企画・調整や補助事業に関する指導等を行う。        主な担当課、役割分担は下記のとおり。        河内長野市教育委員会ふるさと文化財課：文化財の取り扱いに関する指導等        河内長野市産業観光課：観光業務に関する連携        補助事業は次の団体が実施        河内長野市文化遺産活用事業実行委員会（会長 堀智真）        &lt;構成団体：文化財所有者（宗教法人 天野山金剛寺、宗教法人 観心寺、宗教法人 延命寺、宗教法人 河合寺）、祭礼用具所有団体（西代区自治会、喜多町会、高向下町会）&gt;</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成 28 年度交付決定額： 47,415 千円	平成 29 年度申請額： 14,180 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>①調査等で埋もれた歴史文化遺産を掘り起こすことによって、活用できる地域資源の数や種類が増える。市内自治会収蔵資料調査により、毎年約 200 点の基礎資料が増加してきており、これらの基礎資料を活用して、歴史文化遺産データベースを完成させ、公表可能な情報から順次公開できるようになる。</p> <p>②観光や地域振興のために実施可能な事業の幅が広がる。文化財特別公開事業などで公開可能な地域の歴史文化遺産が増加する。住民が地域の歴史文化遺産に関心を持ちつつあり、地元からの要請により、出張展示・出前講座の実施につながっている。</p> <p>③児童・生徒・市民を対象とした各種講座のメニューが増加するとともに、悉皆調査結果や映像記録の活用により、講座内容の充実を図ることができるようになる。</p> <p>④伝統文化や歴史文化遺産を保全し、継承するために活動する市民が増加し、歴史文化遺産を保存・継承できる体制が充実する。</p> <p>⑤歴史文化遺産を活用し、情報発信することで、文化財特別公開などのイベント来場者、資料館施設への来場者が増加し、市全体の交流人口の増加に寄与できる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	文化財特別公開事業「ぐるっとまちじゅう博物館 2017」：中世からの棚田の景観を残す天見地区に伝わる歴史文化遺産を現地で特別に公開し、地元住民にその重要性を再認識してもらおうと共に、市内外からの観光客を誘致し、当該地区の地域活性化の一助とする。		
事業概要：	指定文化財修理事業：文化財の修理を行い、次世代に良好な状態で継承する。併せて、修理現場の公開などの普及啓発事業を実施する。		

11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

平成27年度に「河内長野市歴史文化基本構想」を策定し、これに基づき「河内長野市文化財保存活用計画」を策定中である。

12 担当部局

地方公共団体  
担当部局課

河内長野市教育委員会 生涯学習部 ふるさと文化財課

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	市立ふるさと歴史学習館の年間入館者数			関連事業:	①③	
目標値 1 :	平成 28 年度		7,058 人	⇒	平成 33 年度 9,009 人	
設定根拠 1 :	過去5年間の年間入館者数の最大値と最小値を除いた3年分の増減率1.05倍を参考として、伸び率1.05倍を設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	



事業④：	祭礼用具修理	実施団体：	河内長野市文化遺産活用事業実行委員会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	市内の伝統的な祭礼行事を今後も継承していくために、祭礼で用いられる用具類の修理を行い、後世に良好な状態で伝えていく。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	実施計画期間に修理を行った地区の祭礼行事へ参加する住民数					
目標値：	平成 28 年度		260 人	⇒	平成 33 年度 330 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	